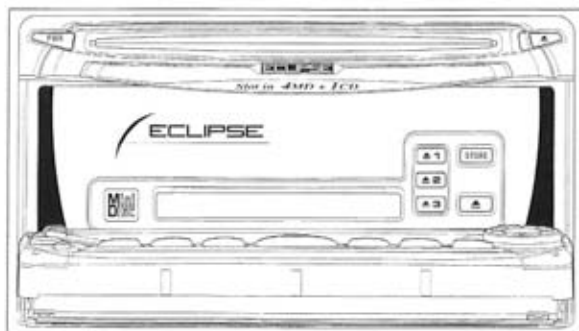
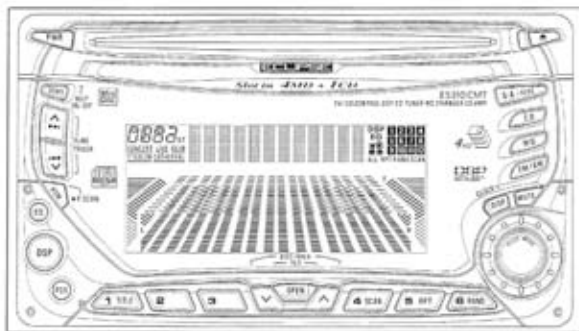


ECLIPSE

マルチコントロール CD/4 MD メインユニット

E5310CMT

取扱説明書



お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本機は DC 12V ⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V 車で使用しないでください。
火災や誤作動などの原因となります。
- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。
このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させて行ってください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズをご使用ください。
事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなどの異常がおきましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用になると事故・火災・感電の原因となります。

 **警告**

- 自動車の運転中にCD、MD等の交換をしないでください。
事故などの原因となります。
- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。
大きな事故や窒息死の原因となります。

 **注意**

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
 - ディスク挿入口に異物を入れしないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
 - 指定の電池以外は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜての使用はしないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
 - 電池を機器内に挿入する場合、極性<+・->に注意し、表示通りに入れてください。
間違えますと電池の破裂、液漏れにより、怪我や周囲を汚染する原因となることがあります。
 - 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
 - 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
 - 本機は、不可視レーザー光を使用しています。本機の分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
本機の改造は危険なレーザー放射の被ばく（視力の低下の原因）をもたらせたり、事故の原因となることがあります。
-

目 次

使用上のご注意	7
本機をお使いになるうえでのお願い	7
コンパクトディスク (CD) について	9
コンパクトディスク (CD) の清掃について	12
ミニディスク (MD) について	13
ミニディスク (MD) の清掃について	14
各部の名称	15
基本操作	16
電源を入れる／切る	16
CD を聞く	17
MD を聞く	17
ラジオを聞く	19
音量を調節する	19
前面パネルの角度を調整する	20
ガイドトーン (操作音) 解除	20
スベアナ表示機能	21
出力レベルを調整する	22
POSITION モードの設定	23
NON Fader フェーズの設定	24
ラウドネスの設定	24
デモンストレーション機能	25
時刻の設定	26
各モードを表示する	27
本機をリセットする	27
表示の輝度を切り換える	27
CD 部の操作	28
CD を聞く	28
次の曲に進む／曲の頭に戻る	29
曲の冒頭を演奏する (SCAN)	29

繰り返し演奏する (REPEAT)	30
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)	30
CD を取り出す	31
CD のタイトルを設定する	32
設定したタイトルを変更する	33
設定したタイトルを削除する	34
CD テキストを表示する	35
MD 部の操作	36
MD を聞く	36
次の曲に進む／曲の頭に戻る	38
曲の始めの部分を演奏する (SCAN)	38
繰り返し演奏する (REPEAT)	39
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)	39
次のディスクに進む／前のディスクに戻る	40
演奏するディスクを指定する	40
4 枚目の MD を聞く (3 + 1 PLAY)	41
ディスクを取り出す	43
タイトル名／曲名を表示する	44
チューナ部の操作	45
自動的に放送局を記憶させる	45
手動で放送局を記憶させる	46
記憶させた放送局を確認する	47
放送局名を表示する	47
FM 放送について	48
DSP/EQ の操作	51
DSP の操作	51
EQ の操作	55
リモコンの操作	58
使用上の注意	58
清掃について	58
電源を入れる／切る	59
音量を調節する	59
機能を切り換える	59

チューナー利用時の操作	60
CD、MD 利用時の操作	61
TV 利用時の操作（1 DINTV 接続時のみ）	62
電池を交換する	63
(別売) CD オートチェンジャーを 接続したときの操作	65
基本操作	65
CD のタイトルを設定する	68
設定したタイトルを変更する	70
設定したタイトルを削除する	71
インフォメーションが点滅する (トラブルシューティング)	72
困ったときは	73
仕様について	76
アフターサービスについて	78

◆ 使用上のご注意

本機をお使いになるうえでのお願い

⚠ 注意

ディスク差し込み口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないよう、特にお子様のいたずらに注意してください。



◎確認しましたか？

このCD テッキは左のマークのついたコンパクトディスク以外は使用できません。CD-R (CD-Recordable) / CD-RW (CD-Rewritable) には対応していません。



◎激しい振動をあたえないで

悪路を走行中、激しく振動した場合、音とびをすることがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからご使用ください。



◎結露現象について

寒いときや雨降りの際は、車内のガラスが曇るように、テッキ内部にも露（水滴）を生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

使用上のご注意



◎夏期は社内温度が高くなるので、社内の温度を下げてから本機をお使いください。



◎湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかると思われ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などには特にご注意ください。



◎本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買求めの販売店にご相談ください。



◎本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。



◎前面パネル開閉中に、手や指を近づけないでください。挟まれて怪我をすることがあります。

＜正しい取り扱いとお手入れによって、いつまでも最良の状態でお楽しみください＞

コンパクトディスク (CD) について

記録された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザー光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキスがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音楽を楽しむため、次のことに十分注意してください。

◎ディスクは必ずケースに入れて、直射日光のあたる場所や高温・多湿の場所をさけて保管してください。

◎ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの、糊がはみ出していたり、剥がした痕のあるものは、お使いにならないでください。そのままデッキにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



◎信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キスを付けたりしないようにしてください。



◎ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいたり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。



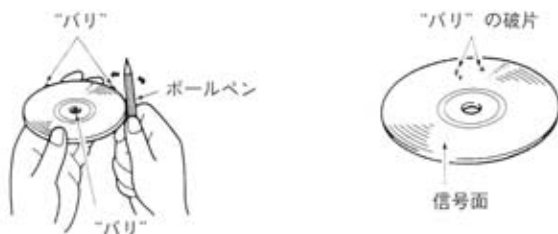
◎記録面に触れないように取り扱ってください。

新しいコンパクトディスクについて

◎新しいコンパクトディスクをご使用になると、コンパクトディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。

“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。

“バリ”がついているコンパクトディスクを使用すると、デッキやCD マガジンにはいらなかったりします。また、使用中に“バリ”の破片がコンパクトディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。

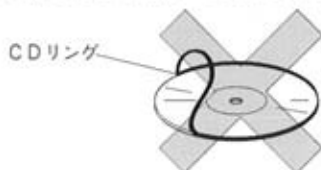


コンパクトディスク用アクセサリについて

◎音質向上やコンパクトディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）は、使用しないでください。コンパクトディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



◎音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング、プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかつたり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。

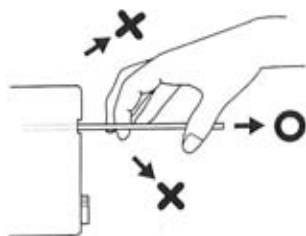


レンタル CD について

◎ CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの、糊がはみ出したり、剥がした痕のあるものは、お使いにならないでください。そのまま CD プレーヤにかけると、CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

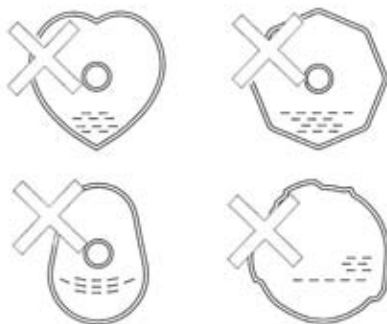
CD の取り出し方について

◎本機から CD を取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すと CD 記録面に傷をつける原因となります。



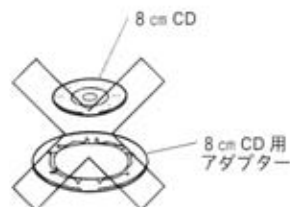
特殊形状 CD について

ハート型や八角形など特殊形状の CD は、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



8 cm CD について

- ・本機では 8 cm CD をアダプターなしで再生することができます。
- ・8 cm CD にシングルアダプターをつけてディスクを再生すると、誤作動することがありますので使用しないでください。



コンパクトディスク（CD）の清掃について



◎ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



◎ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。

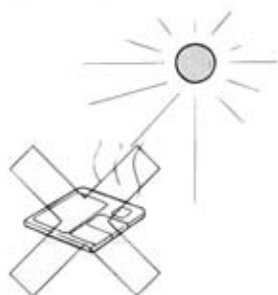


◎ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、ときどき清掃してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入するとディスクにキズがつくことがあります。

ミニディスク (MD) について

●注意●

ミニディスクは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。ミニディスクが反り、使用できなくなることがあります。



- ・ラベルがはがれかけていたり、
ネームテープが貼ってあるミニ
ディスクは使用しないでください。



- ・ミニディスクを長時間本機に入れた
ままにしないでください。また、取
り出したミニディスクは、ミニティ
スク専用ケースに入れて保管してく
ださい。



- ・ミニディスクのシャッターは、
手で開けないでください。



ミニディスク (MD) の清掃について

- ・ミニディスクは、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。

●注意●

ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。

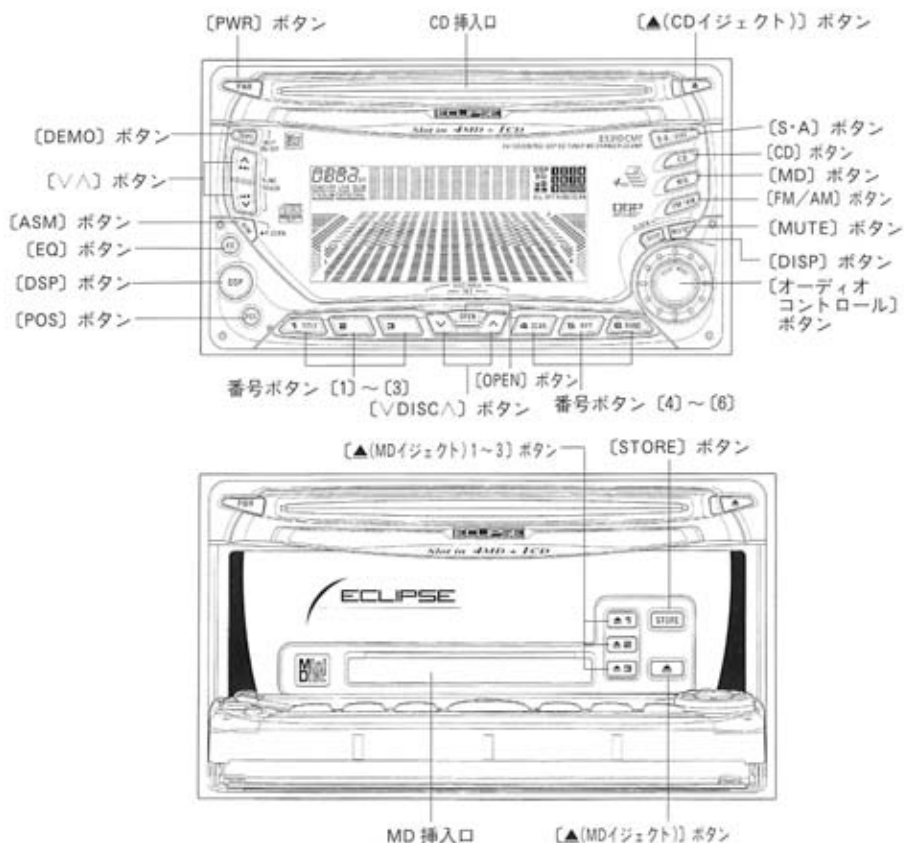
- ・ミニディスクのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。



◆ 各部の名称

本機のおもなボタンを紹介します。

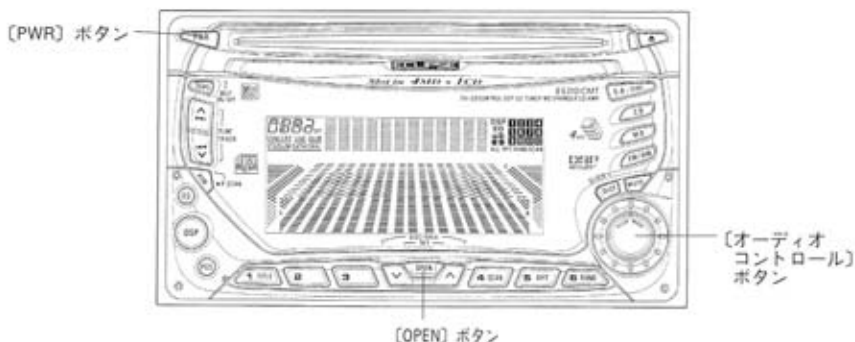
詳細は、各操作の説明を参照してください。(CDの操作 28ページ、MDの操作 36ページ、チューナの操作 45ページ、DSP/EQの操作 51ページ)



● 注意 ●

前面パネルの上にものをのせたり、手をついたりしないでください。

◆ 基本操作



本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

■ 電源を入れる／切る

以下の手順で電源を入れたり、切ったりします。
ACCポジションのない車両の場合、電源を切る操作に注意が必要です。
必ず次の3の手順で電源を切ってください。

1. 電源 OFF 時に ^{パワー} [PWR] ボタンを押す
電源が ON になります。
2. 電源 ON 時に ^{パワー} [PWR] ボタンを 2 秒未満押す
電源が OFF になります。
スタンバイ状態となります。
3. 電源 ON 時に ^{パワー} [PWR] ボタンを 2 秒以上押す
電源が ALL OFF になります。

● 注意 ●

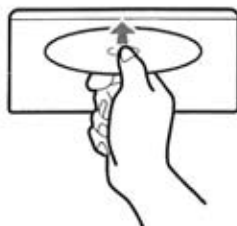
欧州車など ACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず [PWR] ボタンを 2 秒以上押して電源を OFF にしてください。バッテリーが上がる恐れがあります。

■ CD を聞く

以下の手順で CD を聞きます。

1. ディスク差し込み口にレーベル面を上にしてディスクを途中まで挿入する

ディスクが自動的に引き込まれて演奏を開始します。



2. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す

左に回す…音量が小さくなる
右に回す…音量が大きくなる

■ MD を聞く

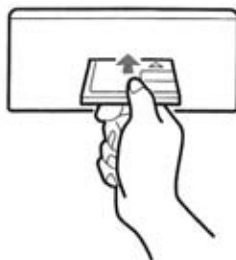
以下の手順で MD を聞きます。

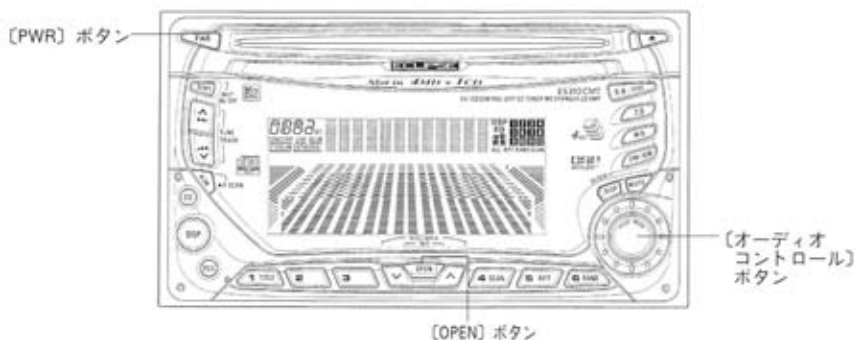
1. ^{オープン}[OPEN] ボタンを1秒未満で押す

前面パネルが開きます。
OPEN ボタンを1秒未満で押すごとに、
前面パネルが開閉します。

2. 挿入口にミニディスクを挿入する

ミニディスクが自動的に引き込まれて演奏を開始します。





●ポイント

前面パネルがフルオープン時にボタンを押すと、前面パネルを元のチルト位置まで復帰させることができます。

前面パネルがオープンまたはクローズ作動中（角度調整時を除く）にボタンを押すと、オープン作動中は元のチルト位置へ、またクローズ作動中はフルオープン動作を行います。

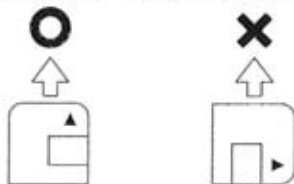
3. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す

左に回す …… 音量が小さくなる

右に回す …… 音量が大きくなる

●注意

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。



●ポイント

MDの演奏を開始する状況は、使用時の状態により異なります。37ページの表を参考にしてください。

■ ラジオを聞く

1. [FM/AM] ボタンを押す
チューナの操作に切り換わります。
2. [FM/AM] ボタンを押して、FM・AMを切り換える
ボタンを押すごとに FM1 → FM2 → AM1 → AM2 の順に切り換わります。
3. [V∧] ボタンを押して、放送局を選択する
[V∧] ボタンを押すと手動で、長めに押すと自動的に放送局を探します。
∧…周波数の高いほうへ選局
V…周波数の低いほうへ選局

●ポイント

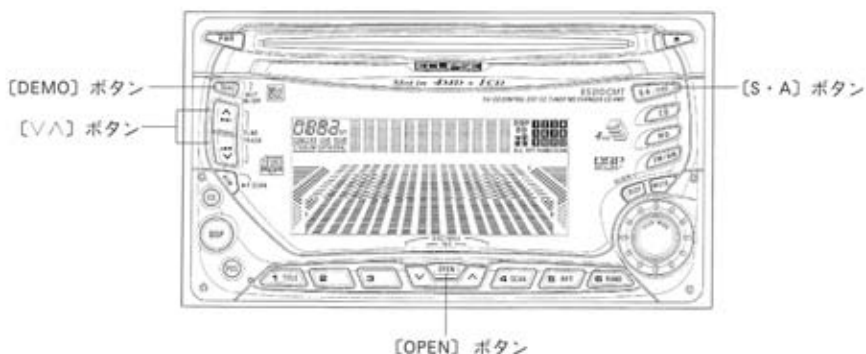
放送局を記憶させてある場合は番号ボタン〔1〕～〔6〕のいずれかを押し、放送局を直接選択できます。(手動で放送局を記憶させる46ページ参照)

■ 音量を調節する

1. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
左に回す…音量が小さくなる
右に回す…音量が大きくなる

●ポイント

瞬時に音量を小さくしたい時は、[MUTE] ボタンを押します。
音量を大きくするには、もう一度 [MUTE] ボタンを押すか、[オーディオコントロール] ボタンを右側に回します。



■ 前面パネルの角度を調整する

以下の手順で前面パネルの角度を調整します。

1. ^{オープン}[OPEN] ボタンを1秒以上押す

ボタンを押し続けている間、ディスプレイ角度を無段階に調整できます。
(オープン方向のみ)

ディスプレイ調整可能な最大角度まできた時点で動作を停止します。

上記にて動作が停止した後ボタンを1秒未満押すとフルオープンし、
1秒以上押すとフルクローズします。

■ ガイドトーン（操作音）解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ビップ」というガイドトーンがなるように設定されています。次の手順でガイドトーンが解除できます。

1. 電源が入っていることを確認する

2. 「BEEP OFF」と表示されるまで [DEMO] ボタンを押す

●ポイント

再度ガイドトーンがなるように設定するときは、同様の操作を行い「BEEP ON」と表示させます。

■ スペアナ表示機能

▼スペアナモードを切り換える

以下の手順でスペアナモードを切り換えます。

1. [S・A] ボタンを押しながら [V^] ボタンを押す

^ … 上段の表示パターン切り替え

v … 下段の表示パターン切り替え

押すごとに次のように切り換わります。

- スペアナ
1. ノーマル
 2. ピークホールド
 3. ノーマル2
 4. ノーマル3
 5. シンメトリー1
 6. シンメトリー2
 7. 表示なし

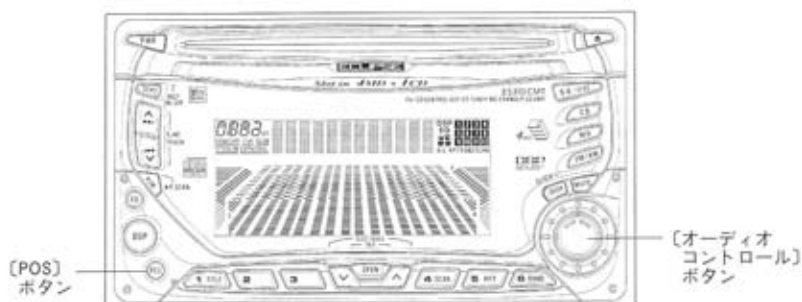
▼スペアナのレベルを調整する

以下の手順でスペアナのレベルを調整します。

1. [S・A] ボタンを1秒以上で押す

押すごとに次のように切り換わります。

Hi → Mid → Lo



■ 出力レベルを調整する

以下の手順で出力レベルを調整します。

1. [オーディオコントロール] ボタンを1秒未満で押す
押すごとに次のように切り換わります。

→ VOLUME → DSP → EQ → FADER → BALANCE → SUB-W LEVEL
(簡易調整) (簡易調整) (FAD) (BAL) (SUB.WF)

●ポイント

- ・ポジションモードの設定時は、FADER/BALANCEのコントロールはできません。
- ・DSP/EQがOFFのとき、DSP(簡易調整)/EQ(簡易調整)はできません。
- ・オーディオコントロールモード表示無し時からボタン操作された場合は、VOLUMEモードからモードを開始します。

2. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
各モードのレベルを調整します。

右……数値が増加
左……数値が減少

●ポイント

- ・EQの詳細を調整中は、簡易調整を行えません。(「EQの操作55ページ参照」)
- ・DSPがONのときは、FADERは調整できません。

■ POSITIONモードの設定

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音象定位を得られます。本機では、4種類のポジションを設定できます。選択したPOSITIONモードに合わせてポジションセレクタのインジケータが点灯します。



- F・R（前席右）……②
- F・L（前席左）……①
- FRONT（前席）……① ②
- REAR（後席）…… ③ ④
- OFF（解除）……なし

1. [POS] ボタンを短めに（1秒未満）押す

設定が、OFF→F・R→F・L→FRONT→REARの順に切り換わります。

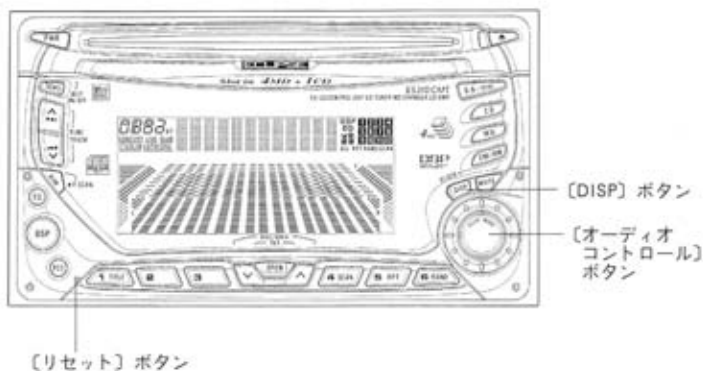
■ NON Fader フェーズの設定

位相を切り換えることでフルレンジスピーカーとウーファアの音のつながりを改善できます。

以下の手順で切り換えます。

1. [POS] ボタンを長めに（1秒以上）押す

位相を切り換え、違和感なくつながる方を選んでください。



■ ラウドネスの設定

LOUDNESSを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。
小さな音量で聞くとときにLOUDNESSをONにすると低・高音の不足感が補正されます。

1. 「LOUD ON」と表示されるまで [オーディオコントロール] ボタンを押す

●ポイント

LOUDNESSを解除するときは、同様の操作を行い「LOUD OFF」と表示されます。

■ デモンストレーション機能（販売店様向け機能）

お買い求め（取付）直後は、本機および組合せの機器が持っている機能を一定の間隔で表示（デモンストレーション）するように設定されています。次の手順で表示の設定／解除を行います。

1. 電源が入っていることを確認する

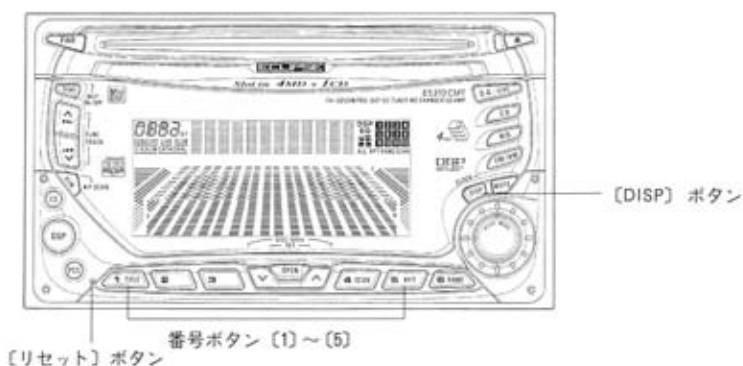
2. [DEMO] ボタンを1秒未満で押す

設定がONになっているときは解除され、OFFになっているときはONになります。

●**ポイント**

デモンストレーションは、PWR OFF、ACC OFFしても解除されます。デモンストレーションを解除してからオーディオコントロールをしてください。ONの状態で調整するとデモンストレーションに戻る可能性があります。

また、取付後の電源初期投入時や〔リセット〕ボタン操作後はデモンストレーションモードになります。



■ 時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM12:00、正午はPM12:00と表示されます。

1. ^{ディスプレイ} [DISP] ボタンを押して、時計表示に切り換える
2. [DISP] ボタンを押しながら番号ボタン〔1〕または〔2〕を押す
時間を調節します。
番号ボタン〔1〕……数字が減る
番号ボタン〔2〕……数字が増える
3. [DISP] ボタンを押しながら、番号ボタン〔3〕または〔4〕を押す
分を調節します。
番号ボタン〔3〕……数字が減る
番号ボタン〔4〕……数字が増える

●ポイント

00分00秒（正時）に時計を合わせたいときは、[DISP] ボタンを押しながら番号ボタン〔5〕を押します。

- 例) PM 3:29 → [DISP] ボタン+番号ボタン〔5〕 → PM 3:00
PM 3:30 → [DISP] ボタン+番号ボタン〔5〕 → PM 4:00

■ 各モードを表示する

以下の手順で各モードを表示します。

1. ^{ディスプレイ}〔DISP〕 ボタンを1秒未満で押す。
押すごとに各モードの状態表示（初期設定表示）と時計表示が次のように切り換わります。

チューナモード時	→ 放送局名表示 → 時計表示
CDプレーヤー、CDチェンジャー、MDチェンジャー	→ タイトル → ※CDテキスト → 時計表示

※CDプレーヤーで再生時のみ

表示モードについては、モードに関係なく、その時の表示モードをラストメモリします。

■ 本機をリセットする

表示部が正しく表示されなかったり、本機が正しく動作しないときは、以下の手順で本機をリセットします。

1. 〔リセット〕 ボタンを押す

ペン先などでボタンを押してください。

●ポイント

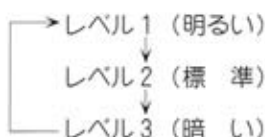
リセットすると、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されますので、もう一度、セットしなおしてください。

■ 表示の輝度を切り換える

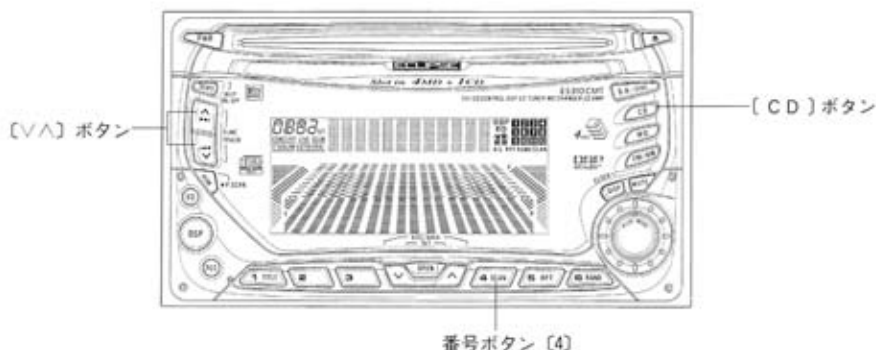
以下の手順で表示の輝度のレベルを3段階に切り換えることができます。

1. ^{ディスプレイ}〔DISP〕 ボタンを長めに（1秒以上）押す

押すごとに輝度のレベルが次のように切り換わります。



◆ CD 部の操作



ここでの操作は、[CD] ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでに CD を装てんしていることを前提に説明します。

■ CD を聞く

1. [CD] ボタンを押す

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。CD チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すごとに CD プレーヤー → CD オートチェンジャー 1 → CD オートチェンジャー 2 の順に切り換わります。ディスクが装てんされていない場合は、その機器を飛ばして切り換わります。

●注意●

演奏中の CD に傷があると、音が途切れることがあります。

■ 次の曲に進む／曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の冒頭へ移動します。

1. [V^] ボタンを押す

^……………次の曲に進む

v……………演奏中の曲の頭に戻る

●ポイント●

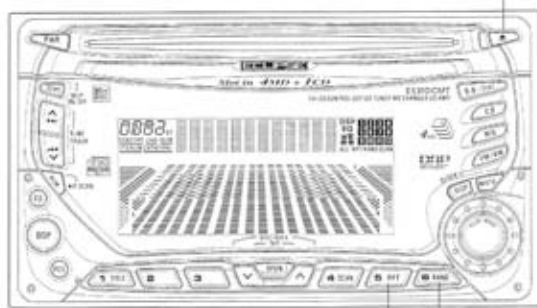
ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り（^方向）または早戻し（v方向）します。

■ 曲の冒頭を演奏する（^{スキャン}SCAN）

1. 番号ボタン〔4〕を押す

演奏しているCD全曲の冒頭を10秒ずつ演奏します。

[▲ (CDイジェクト)] ボタン



番号ボタン [5] [6]

■ 繰り返し演奏する (REPEAT)

1. 番号ボタン [5] を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

■ 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)

この機能を使用すると、CDの曲を順不同に演奏させることができます。

1. 番号ボタン [6] を押す

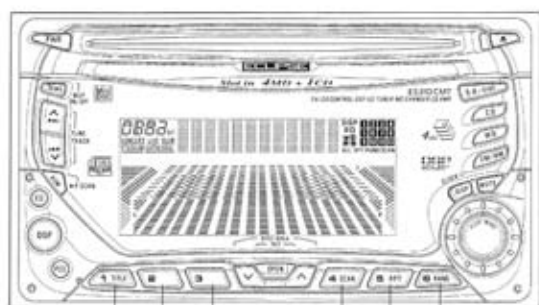
演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

●ポイント

- ・「曲の冒頭を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。
- ・まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。

■ CD を取り出す

1. [▲ (CDイジェクト)] ボタンを押す
装てんされているディスクが排出されます。



番号ボタン [1] ~ [3]

番号ボタン [4] ~ [6]

■ CD のタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。タイトルを設定していないときは、「NO TITLE」と表示されます。

●ポイント

- ・最大30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- ・すでに30枚分のタイトルを記憶しているときは、「FULL DATE」と表示され設定モードになりません。
- ・タイトルは、最大12文字まで入力できます。

タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

1. 番号ボタン [1] を押す

ディスクタイトル設定モードになります。

2. 番号ボタン [2] を押して入力する文字の種類を選択する

「SELECT□□□」と表示され、ボタンを押すと「ABC」（大文字アルファベット）、「アイウ」（カナ）、「1 2 3」（数字）、「! " #」（記号）の順に切り換わります。

3. 番号ボタン〔3〕または〔4〕を押して入力位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

番号ボタン〔3〕……左に戻る

番号ボタン〔4〕……右に進む

●ポイント

- ・入力する文字の種類を変更するときは、2.、3.の手順を繰り返してください。
- ・文字は最大12文字まで入力できます。

4. 番号ボタン〔5〕または〔6〕を押して文字を選択する

番号ボタン〔5〕……前に戻る

番号ボタン〔6〕……次に進む



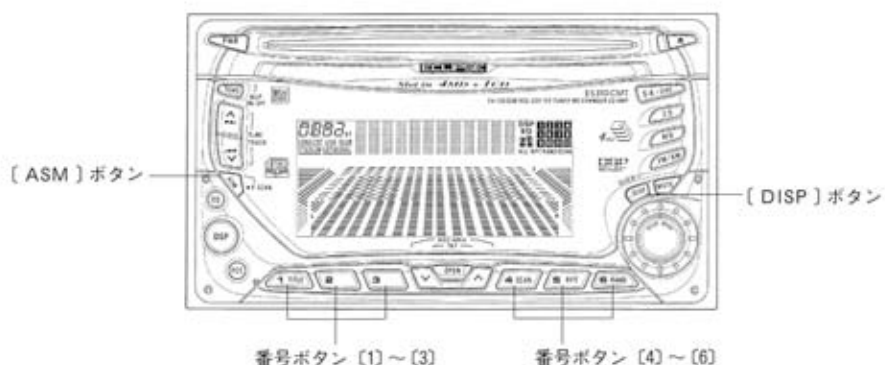
5. 番号ボタン〔1〕を押す

設定が完了します。

■ 設定したタイトルを変更する

1. 番号ボタン〔1〕を押す

ディスクタイトル設定モードになりタイトルが表示されます。



2. 番号ボタン〔3〕または〔4〕を押して変更したい文字を点滅させる

- 番号ボタン〔3〕 ……左に戻る
- 番号ボタン〔4〕 ……右に進む

ポイント

空白を入りたいときは、以下の手順にしたがってください。

1. 番号ボタン〔3〕または〔4〕を押してカーソルを移動し、空白をいれたい場所を点滅させる
2. 番号ボタン〔5〕または〔6〕を押して空白を選ぶ

3. 番号ボタン〔1〕を押して変更を完了する

■ 設定したタイトルを削除する

1. タイトル全体が点滅するまで番号ボタン〔1〕を押す
タイトルが点滅します。
2. 「DELETE!!」と表示されるまで〔ASM〕ボタンを押す
タイトルが削除されます。

■ CD テキストを表示する

下のマークの付いている CD には、ディスクタイトル・トラックタイトルが記録されており、それらを表示させることができます。



1. [DISP] ボタンを押して、CD テキスト表示に切り換える

ボタンを押すごとに、タイトル→CD テキスト→時計の順に切り換わります。

2. 番号ボタン〔2〕を押す

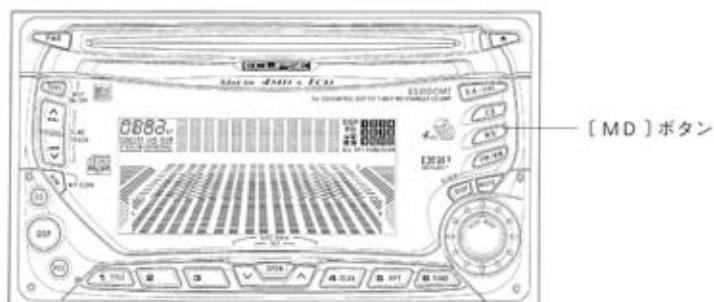
ボタンを押すごとにディスクタイトルとトラックタイトルが切り換わります。

●ポイント

CDプレーヤーで再生した時に表示されます。

(外部に接続したCDチェンジャーで再生した時は、表示されません。)

◆ MD 部の操作



ここでの操作は、[MD] ボタンを押してディスクモードに切り換えてから行ってください。ここでは、すでに MD を 1 枚以上装てんしていることを前提に説明します。

■ MD を聞く

1. [MD] ボタンを押す

ディスクモードに切り換わり、演奏が始まります。

●ポイント

2～3 枚のディスクが装てんされている場合、表示部で装てんされているディスクの枚数が確認できます。

MD は、装てんされた順に MD 1～3 のディスク番号が付けられます。ディスクが 2～3 枚装てんされているときは、再生中のディスクの演奏が終了すると、自動的に次のディスクを再生します。

演奏中に任意のディスクを挿入口に差し込むと、自動的にディスクを吸い込み空いているストッカに格納します。

この間、演奏は中断されません。

●注意●

演奏中の MD に傷があると、音が途切れることがあります。

ワンポイント

本機には、再生していないMDを格納する「ストック」を内蔵（ディスク3枚分）しております。

これにより、多彩な、ディスクアクションが可能です。





■ 次の曲に進む／曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1. [V^] ボタンを押す

- △ …… 次の曲に進む
- ▽ …… 演奏中の曲の頭に戻る

●ポイント●

ボタンを押し続けると、演奏中の曲を早送り（△方向）または早戻し（▽方向）します。

■ 曲の始めの部分を演奏する（^{スキャン}SCAN）

1. 番号ボタン〔4〕を押す

演奏している MD 全曲の始めの部分を10秒間ずつ演奏します。
「ALL SCAN」と表示されるまで押し続けると、装てんしている全 MD の1曲目を10秒間ずつ演奏します。

●注意●

ディスクが4枚装てんされている場合は本機能はご使用になれません。

■ 繰り返し演奏する (REPEAT)^{リピート}

1. 番号ボタン〔5〕を押す

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

■ 曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)^{ランダム}

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

1. 番号ボタン〔6〕を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装てんしているディスク内の曲を順不同に演奏します。

●ポイント

- ・まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが故障ではありません。
- ・「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RAND」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。



■ 次のディスクに進む／前のディスクに戻る

1. [V DISC ^] ボタンを押す

△ …… MD 番号が上のディスクへ移る

▽ …… MD 番号が下のディスクへ移る

■ 演奏するディスクを指定する

装てんしているディスクのうち、お聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

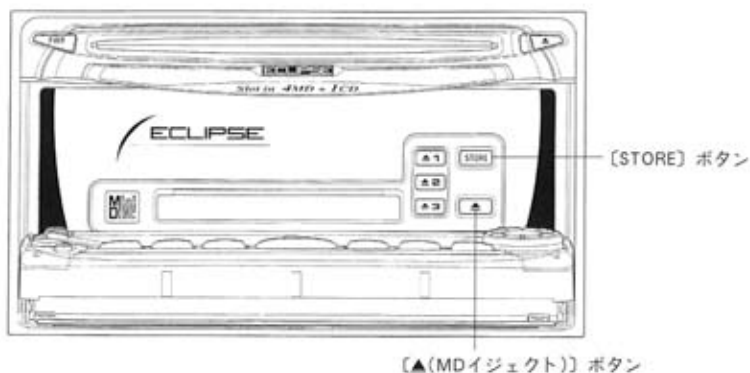
1. [ASM] ボタンを押す

2. 番号ボタン [1] ~ [3] のいずれかを押す

最初のストッカに装てんされた MD を選ぶときは番号ボタン [1] を、
2 番目、3 番目のストッカに装てんされた MD の場合は番号ボタン
[2]、番号ボタン [3] を押します。

●注意●

3 + 1 PLAY 機能を使って 4 枚目のディスクを演奏しているときは、この機能は使用できません。



■ 4 枚目の MD を聞く (3 + 1 PLAY)

3 枚のディスクをストッカへ装てんすると、3 + 1 PLAY 機能としてもう 1 枚のディスクを再生できるようになります。

1 枚目から 3 枚目までの MD は、挿入口に差し込むと自動的に吸い込まれます。

1. [STORE] ボタンを押す

ドライブ部に装てんされているディスクがストッカへ移動します。

2. 4 枚目のディスクを挿入口に差し込む

自動的に 4 枚目のディスクの演奏を開始します。

●ポイント●

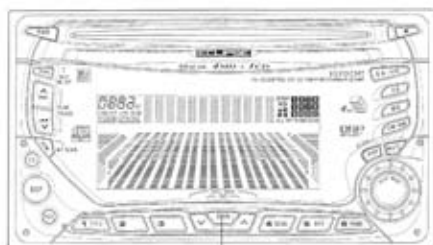
4 枚目のディスクが入っているときは、ストッカ内のディスクの再生や交換はできません。前面パネルの [▲(MDイジェクト)] ボタンを押して、4 枚目のディスクを取り出してから操作してください。

●注意●

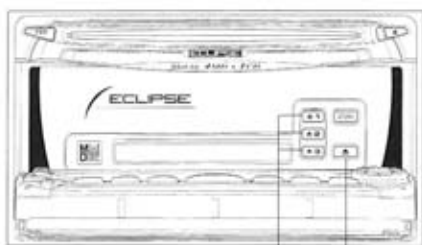
本機に挿入可能なディスクは最高 4 枚までです。すでに 4 枚のディスクが入っているときは、別の MD を挿入しないでください。

MD を挿入すると、下表のように動作します。

POWER	TUNER	装着している MDの数	MD演奏状況
OFF	—	0	演奏開始
OFF	—	1～2	電源OFFのまま
OFF	—	3	〔STORE〕 ボタンを 押してMD挿入後、演 奏開始
ON	ON	0	演奏開始
ON	ON	1～2	TUNER ONのまま
ON	—	演奏中	演奏を中断せず、新し いMDを格納



[OPEN] ボタン



[▲(MDイジェクト)1~3] ボタン

[▲(MDイジェクト)] ボタン

■ ディスクを取り出す

ディスクを取り出すには、2通りの方法があります。

▼演奏中のディスクを取り出す

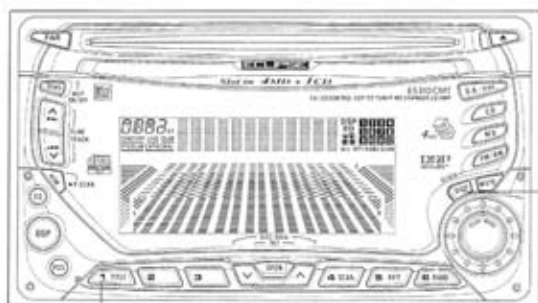
1. [▲(MDイジェクト)] ボタンを押す
演奏中またはドライブ部に装てんされているディスクが排出されます。
2. MD を取り出してから [OPEN] ボタンを押す
前面パネルが閉じます。

▼演奏を中断しないで、任意のディスクを取り出す

1. 任意の [▲(MDイジェクト)1~3] ボタンを押す
ボタンを押された番号のディスクが排出されます。
2. MD を取り出してから [OPEN] ボタンを押す
前面パネルが閉じます。

●注意●

MDが排出された状態のまま前面パネルを閉じないでください。MDと前面パネルが接触し、傷がついたり故障の原因となります。この場合、[OPEN] ボタンを短めに押してMDを取り出してから前面パネルを閉じてください。



番号ボタン [1]

■ タイトル名／曲名を表示する

ディスクにタイトル名や曲名などが記憶されているときは、それらをスクロール表示することができます。表示可能な文字は、英数字・カタカナ合わせて100文字です。表示部には最大12文字まで表示され、以降の文字はスクロールして表示されます。

1. [DISP] ボタンを押して、タイトル名または曲名が表示されるまで切り換える

ボタンを押すごとに時計 → タイトル の順に切り換わります。

2. 番号ボタン [1] を押す

ボタンを押すごとに、ディスクタイトル → トラックタイトル の順に切り換わります。

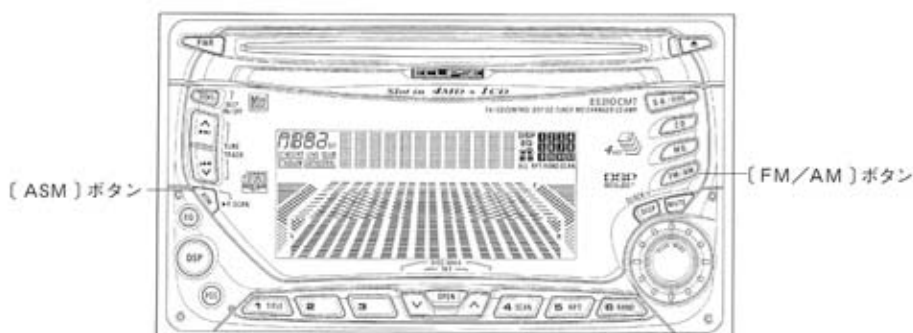
● ワポイント

番号ボタン [1] を1秒以上押すと、トラックタイトルが2段表示され、上方向へスクロールを繰り返し表示します。再度1秒以上押すと解除されます。

● 注意

ディスクにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にディスクのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。

◆ チューナ部の操作



ここでの操作は、[FM/AM] ボタンを押して、チューナの操作に切り換えてから行ってください。

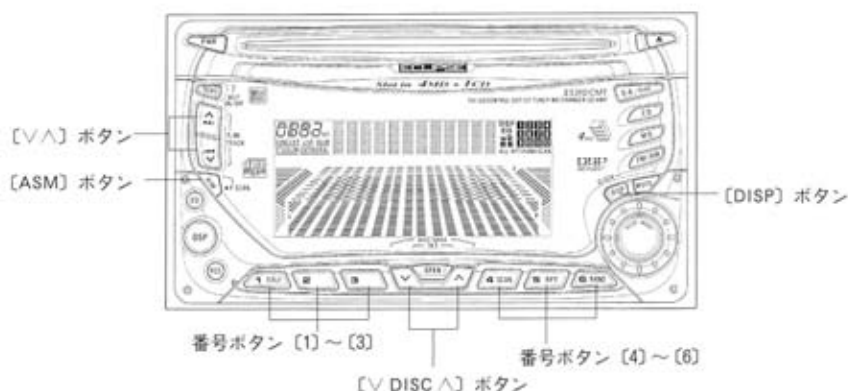
■ 自動的に放送局を記憶させる

1. 「ASM ON」と表示されるまで [ASM] ボタンを押す

周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。
 受信電波の強い6局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。
 「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。

● ワポイント

- ・ ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ ご希望の放送局が記憶されなかったときは、手動で放送局を選択することもできます。(「手動で放送局を記憶させる」46ページ参照)



■ 手動で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送局がメモリでできなかった場合など、手動で放送を選局する方法を説明します。

1. [V/∧] ボタンで記憶する周波数に合わせる
2. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで任意の番号ボタン [1]～[6] を押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶されます。このボタンをプリセットボタンと呼びます。

●ポイント

番号ボタンを押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

●注意

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンの操作をしたときは、ここでの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。

■ 記憶させた放送局を確認する

1. [ASM] ボタンを押す

「P.SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。
再度[ASM] ボタンを押すと解除されます。

■ 放送局名を表示する

番号ボタンに記憶させた周波数に対応する放送局名を表示させる機能です。
表示する放送局名は各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。

●注意●

エリアを選択することで、そのエリアでの周波数をプリセットするものではありません。

1. [V DISC^{ディスプレイ}] ボタンを押す

押すごとに下表のようにエリアが切り換わります。
ご使用のエリアを選択してください。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、 新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キュウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、 沖縄

2. ディスプレイ [DISP] ボタンを放送局名が表示されるまで押す

放送局名が表示されます。

●注意●

以下の点にご注意ください。

- ・500W以下のAM放送局（中継局）および100W以下のFM放送局（中継局）のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。

IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合

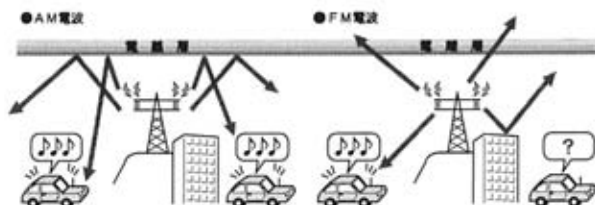
- ・放送局によっては、正式な名称を表示しないときがあります。（12文字まで表示します。）
- ・本機の放送局名データは、平成12年4月1日現在のものです。

■ FM 放送について

FM放送は、普通のラジオ放送（AM）に比べて、よい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1. FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。

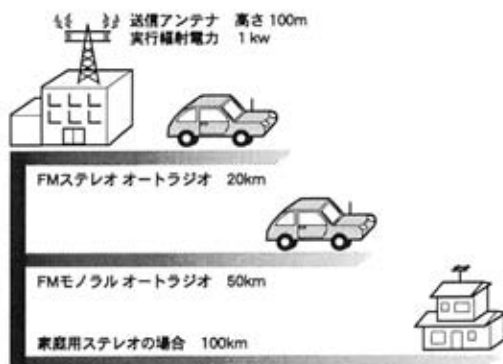


2. フェードアウト

FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャツ、シャツ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナの形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

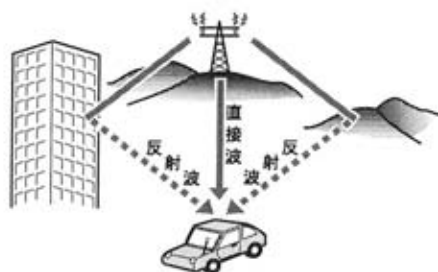


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

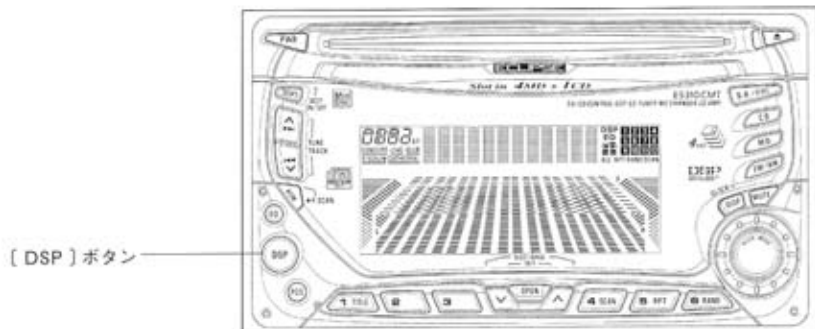
4. マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音ができたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。

このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させてください。



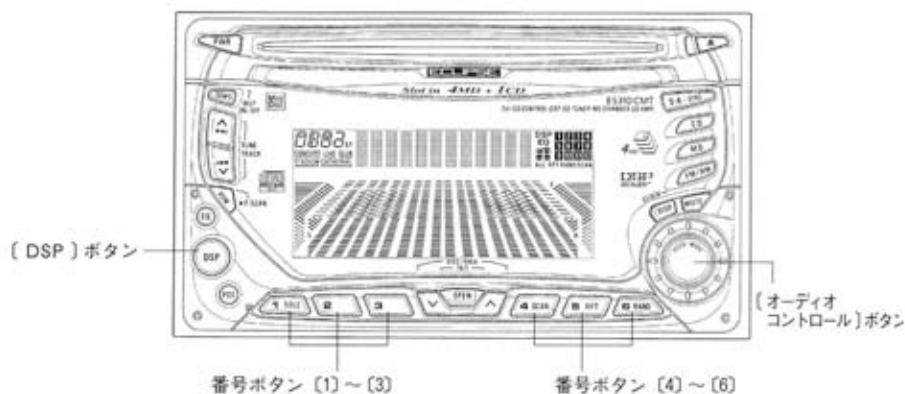
◆ DSP/EQの操作



■ DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現することができます。

[DSP] ボタンを押す。

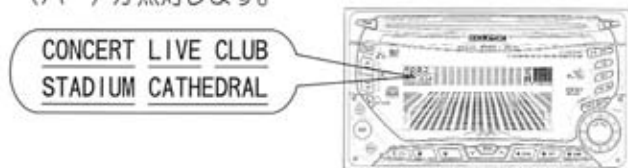


▼ルームサイズを切り換える

1. [DSP] ボタンを押してルームサイズを切り換える
5つのパターンのルームサイズが用意されています。次の順に切り替わります。
 1. CONCERT (コンサートホール)
 2. LIVE (ライブハウス)
 3. CATHEDRAL (残響音の多い教会)
 4. STADIUM (野外スタジアム)
 5. CLUB (クラブ)
 6. DEFEAT (DSP OFF)

●ポイント

選択したDSPモードに合わせて、表示部左の選択したルームサイズの下の—(バー)が点灯します。

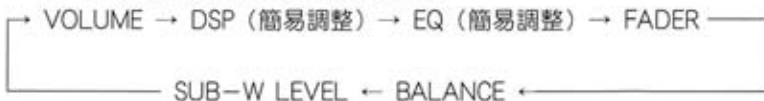


▼各モードの詳細を調整する

各ルームサイズのモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいルームサイズが表示されるまで〔DSP〕ボタンを押す
2. 〔オーディオコントロール〕ボタンを押してDSPモードを選ぶ

モードは、次のように切り換わります。



3. 〔オーディオコントロール〕ボタンを左右に回す

レベルを調整します。

右……数値が増加

左……数値が減少

4. ルームサイズが点滅表示されるまで〔DSP〕ボタンを押す

DSP調整モードに切り換わります。

5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる〔番号ボタン〕
〔プリセットボタン〕を押す

プリセットが書きかわります。

6. 点滅が点灯となるまで〔DSP〕ボタンを押す

調節モードが解除され、変更が有効になります。

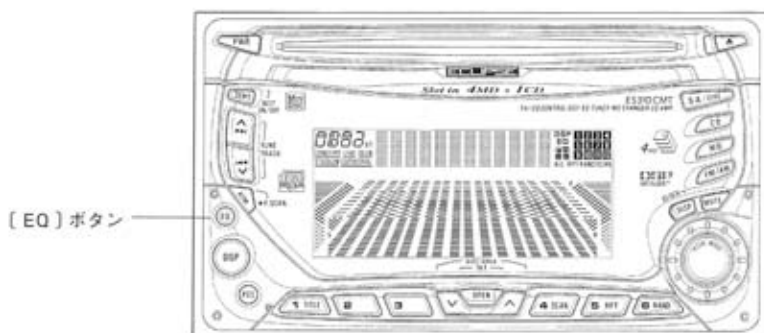
●ワポイント

簡易調整については、22ページの「出力レベルを調整する」を参照してください。

▼記憶したパターンを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したルームサイズを呼び出します。ルームサイズを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. ルームサイズが点滅表示されるまで〔DSP〕ボタンを押す
2. 任意の〔番号ボタン〕を押してルームサイズを選択する
3. ルームサイズの点滅が点灯となるまで〔DSP〕ボタンを押す
選択したルームサイズが有効になります。



[EQ] ボタン

■ EQ の操作

EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。

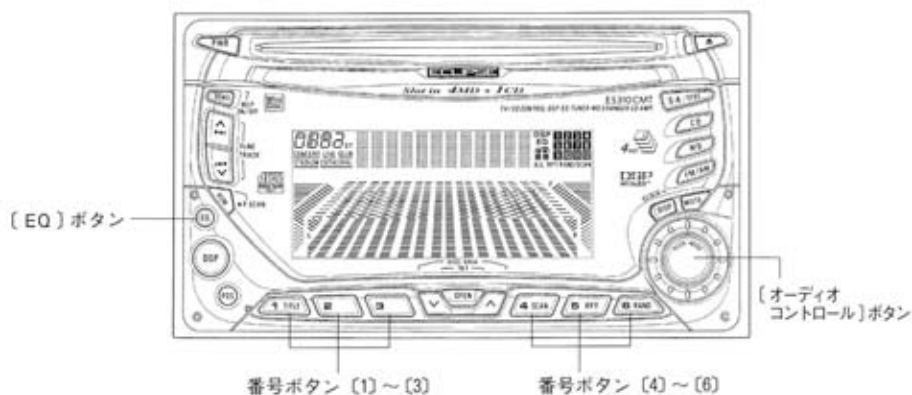
^{イコライザ} [EQ] ボタンを押してON/OFFを切り換えます。

▼イコライザモードを切り換える

1. ^{イコライザ} [EQ] ボタンを押してイコライザモードを切り換える

6パターンのイコライザモードが用意されています。次の順に切り換わります。

1. POPS (ポップス)
2. ROCK (ロック)
3. JAZZ (ジャズ)
4. CLASSIC (クラシック)
5. VOCAL (ボーカル)
6. NEWS (ニュース)
7. DEFEAT (EQ OFF)



▼各モードの詳細を調整する

各イコライザモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいイコライザモードが表示されるまで [EQ] ボタンを押す
2. [オーディオコントロール] ボタンを押して周波数を切り換える
周波数は、次の順に切り換わります。
63Hz→125Hz→250Hz→500Hz→1kHz→2kHz→4kHz→8kHz→12kHz
3. [オーディオコントロール] ボタンを左右に回す
レベルを調整します。
右……数値が増加
左……数値が減少
4. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる [番号ボタン] (プリセットボタン) を押す
プリセットが書きかわります。
5. [EQ] ボタンを長めに (1秒以上) 押す
調整モードが解除され、変更が有効になります。

▼記憶したパターンを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したイコライザモードを呼び出します。

イコライザモードを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. ^{イコライザ}〔EQ〕 ボタンを長めに（1秒以上）押す
2. 任意の〔番号ボタン〕を押してイコライザモードを選択する
3. ^{イコライザ}〔EQ〕 ボタンを長めに（1秒以上）押す

選択したイコライザモードが有効になります。

●ポイント

プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザーモードは「USER」と表示されます。

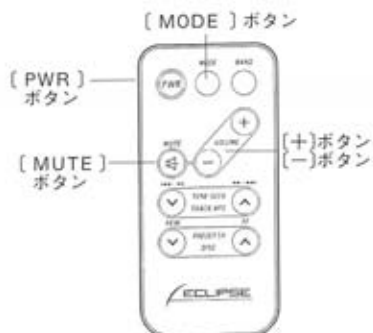
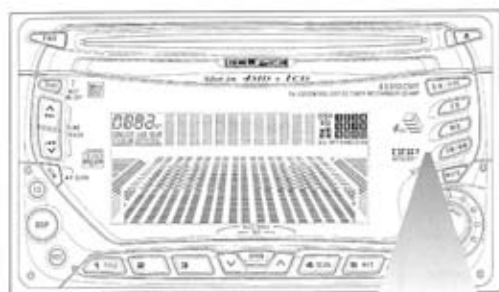
◆ リモコンの操作

使用上の注意

- ・ リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶついたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・ リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ タッチボードなど直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ・ 運転の妨げにならないようにご使用ください。
- ・ 車から降車される際は必ず本体の〔PWR〕ボタンを押して電源を切ってください。電源を切り忘れますとバッテリーが上がる恐れがあります。また、本体の電源が切れているときは、リモコンを使用することはできません。

清掃について

- ・ リモコンのお手入れの際は、乾いた布（汚れがひどい場合は水を少しつけて堅くしぼった布）で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



■ 電源を入れる／切る

1. ^{パワー}[PWR] ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

■ 音量を調節する

1. [+] ボタンまたは [-] ボタンを押す

+ …… 音量が上がる

- …… 音量が下がる

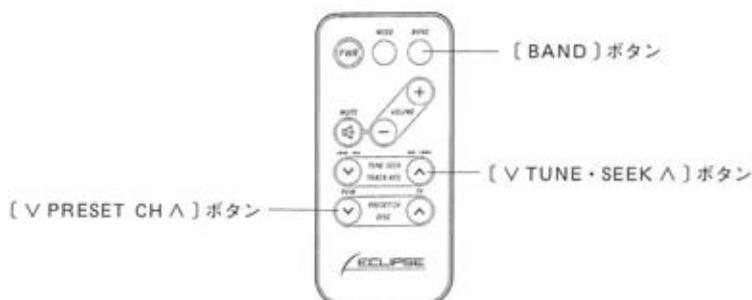
▼瞬時に音量を下げる（ミュート）

^{ミュート}[MUTE] ボタンを押すと、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

■ 機能を切り換える

1. ^{モード}[MODE] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、チューナー→ディスク→TVの順に切り換わります。



■ チューナ利用時の操作

▼ FM/AM を切り換える

1. [BAND] ボタンを押す

ボタンを押すごとに、FM1 → FM2 → AM1 → AM2（元に戻る）の順に切り換わります。

▼ 放送局を選ぶ（自動・手動）

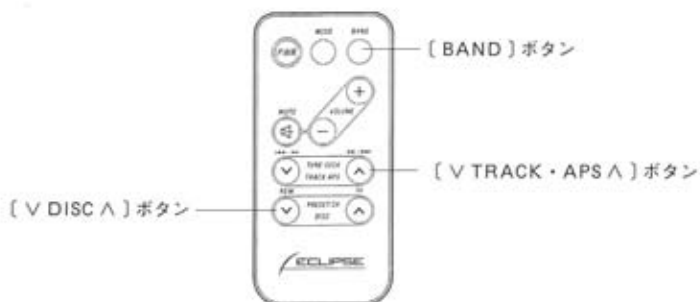
ボタンを短く押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動で放送局を選べます。

1. [^{チューン} V TUNE・^{シーク} SEEK 〰] ボタンを押す
 - 〰……周波数の高い方へ選局
 - V……周波数の低い方へ選局

▼ 記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局（プリセット選局）から呼び出します。（手動で放送局を記憶させる46ページ参照）

1. [^{プリセットチャンネル} V PRESET CH 〰] ボタンを押す
 - 〰……プリセット番号の高い方へ選局
 - V……プリセット番号の低い方へ選局



■ CD、MD利用時の操作

▼次の曲に進む／曲の頭に戻る

1. トラック・エービーエス [VTRACK・APS Δ] ボタンを押す
 - Δ……次の曲に進む
 - V……演奏中の曲の頭に戻る

●ポイント

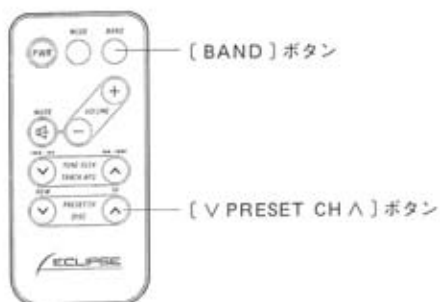
ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り（Δ方向）または早戻し（V方向）します。

▼次のディスクに進む／前のディスクに戻る

1. ディスク [VDISC Δ] ボタンを押す
 - Δ……ディスク番号が上のディスク（次のディスク）へ移動
 - V……ディスク番号が下のディスク（前のディスク）へ移動

▼ディスクモードを切り換える

1. バンド [BAND] ボタンを押す
 ボタンを押すごとにCDプレーヤー→CDオートチェンジャー1→CDオートチェンジャー2→MDチェンジャーの順に切り換わります。
 このとき、ディスクがセットされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。



■ TV 利用時の操作（1 DINTV接続時のみ）

▼チャンネルを選ぶ

本体でプリセットしたチャンネルを呼び出します。

1. プリセットチャンネル [V PRESET CH ^] ボタンを押す

^……数字が上のチャンネルを選局

v……数字が下のチャンネルを選局

▼バンドを切り換える

1. バンド [BAND] ボタンを押す

ボタン押すごとに、TV 1 → TV 2 の順に切り換わります。

■ 電池を交換する

警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、CR2025（1個）をご使用ください。

1. リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に移動して解除したまま、つめをひっかけて電池ケースを引き出す



2. 電池を入れ替える
+表示を上にして電池をセットしてください。



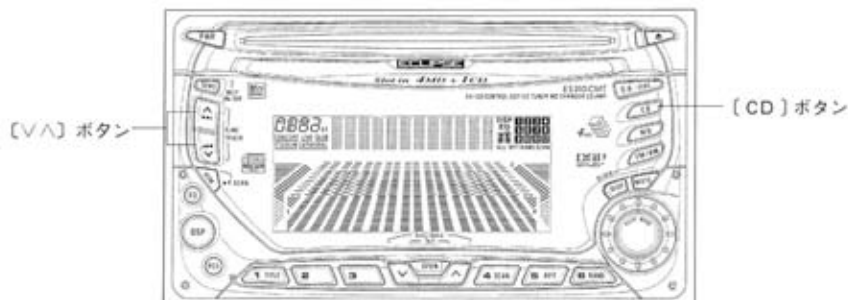
3. カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで電池ケースを閉める



●注意●

誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。

◆ (別売) CDオートチェンジャーを接続したときの操作



■ 基本操作

CD オートチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。
チューナから切り換えるときは [CD] ボタンを押してください。

▼ CD を切り換える

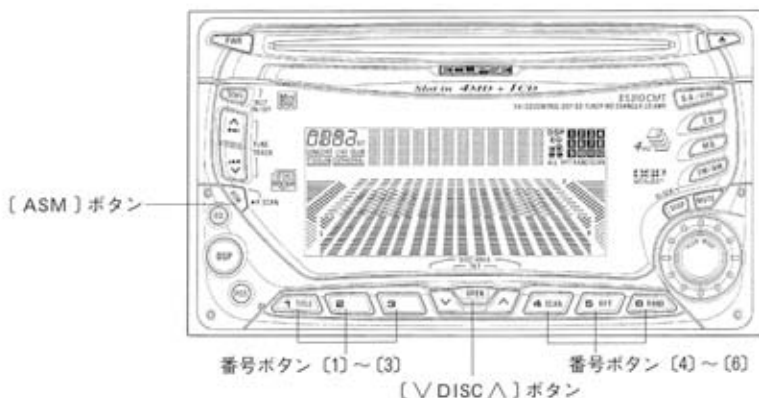
1. [CD] ボタンを押す
ボタンを押すごとに、CD オートチェンジャー 1 → CD オートチェンジャー 2 の順に切り換わります。
このとき、ディスクが装てんされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。

▼ 次の曲に進む／曲の頭に戻る

1. [V/A] ボタンを押す
A……次の曲に進む
V……演奏中の曲の頭に戻る

● ワポイント

ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り (A方向) または早戻し (V方向) します。



▼曲の始めの部分を演奏する (SCAN)^{スキャン}

1. 番号ボタン [4] を押す

演奏している CD 全曲の冒頭を10秒ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、装着している全 CD の1曲目を10秒間ずつ演奏します。

▼繰り返し演奏する (REPEAT)^{リピート}

1. 番号ボタン [5] を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中の CD 内の全曲を繰り返し再生します。

▼曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)^{ランダム}

1. 番号ボタン [6] を押す

演奏中の CD 内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、装着している全 CD 内の曲を順不同に演奏します。

●ポイント

- ・「曲の始めの部分を演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RAND」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。
- ・まれに、同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。

▼次のCDに進む／前のCDに戻る

1. [V DISC ^{ディスク} ^] ボタンを押す
^……CD番号が上のディスクへ移る
V……CD番号が下のディスクへ移る

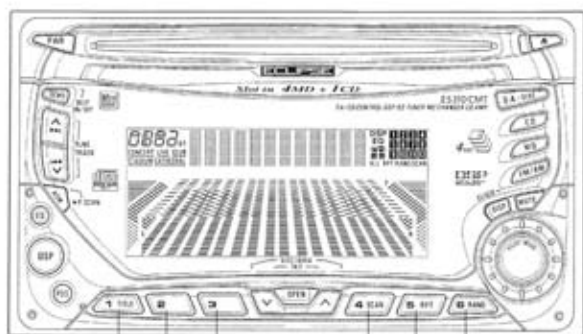
▼演奏するCDを指定する

装てんしているCDのうちお聞きになりたいディスクをダイレクトに指定できます。

1. [ASM] ボタンを押す
2. 番号ボタン〔1〕～〔6〕のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
CD番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

CD番号7～12を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。



番号ボタン〔1〕～〔3〕

番号ボタン〔4〕～〔6〕

■ CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。タイトルを設定していないときは、「NO TITLE」と表示されます。

●ポイント

- ・最大30枚分のタイトル記憶させることができます。
- ・すでに30枚分のタイトルを記憶しているときは、「FULL DATE」と表示され設定モードになりません。
- ・タイトルは最大12文字まで入力できます。

1. 番号ボタン〔1〕を押す

ディスクタイトル設定モードになります。

2. 番号ボタン〔2〕を押して入力する文字の種類を選択する

「SELECT□□□」と表示され、ボタンを押すと「ABC」(大文字アルファベット)、「アイウ」(カナ)、「1 2 3」(数字)、「! " #」(記号)の順に切り換わります。

3. 番号ボタン〔3〕または〔4〕を押して入力位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

番号ボタン〔3〕…… 左に戻る $\overline{\square}BC$

番号ボタン〔4〕…… 右に進む $A\overline{\square}C$

● **ポイント**

- ・入力する文字の種類を変更するときは、手順2、3を繰り返してください。
- ・文字は最大12文字まで入力できます。

4. 番号ボタン〔5〕または〔6〕を押して文字を選択する

番号ボタン〔5〕…… 次に進む A→B→C

番号ボタン〔6〕…… 前に戻る C→B→A

5. 番号ボタン〔1〕を押す

CDのタイトルが設定されます。



■ 設定したタイトルを変更する

1. 番号ボタン [1] を押す
ディスクタイトル設定モードになりタイトルが表示されます。
2. 番号ボタン [3] または [4] を押して変更したい文字を点滅させる
番号ボタン 3 …… 左に戻る $\overline{0}BC$
番号ボタン 4 …… 右に進む $A\overline{0}C$
3. 番号ボタン [5] または [6] を押して入力する文字を選択する
番号ボタン 5 …… 次に進む A→B→C
番号ボタン 6 …… 前に戻る C→B→A

●ポイント

空白を入れたいときは、以下の手順にしたがってください。

1. 番号ボタン [3] または [4] を押してカーソルを移動し、空白を入れたい場所を点滅させる

$A\overline{0}C$

2. 番号ボタン [5] または [6] を押して空白を選ぶ

$A\overline{\square}C$

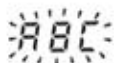
4. 番号ボタン〔1〕を押す

タイトルが変わります。

■ 設定したタイトルを削除する

1. タイトル全体が点滅するまで番号ボタン〔1〕を押す

タイトルが点滅します。



2. 「DELETE!!」と表示されるまで〔ASM〕ボタンを押す

タイトルが削除されます。

■ インフォメーションが点滅する (トラブルシューティング)

[INFO No.] が表示されたときは、下表を参考に対処してください。
また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの
販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
	オートチェンジャーのメカトラブル	・オートチェンジャーのイジェクトボタンを押して一度マガジンを出し、再度マガジンを挿入して再生してください。
5		・イジェクトしてもマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	オートチェンジャーの内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	オートチェンジャーの内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

* この内容は、MD のみ適用されます。

◆ 困ったときは

	症 状	原 因	処 置	本書参照 ページ
共通	音が出ない。音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	17
		ミュート (MUTE) が働いていませんか。	ミュート (MUTE) を解除してください。	59
		フェーダ (FADER) やバランス (BALANCE) が片寄った設定になっていませんか。	フェーダ (FADER) やバランス (BALANCE) を適正な位置に調整してください。	22
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
電源が入らない。	一度にたくさんのお電装品を取付けられて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。		
	その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。		
メモリした周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度メモリし直してください。	32、33 45、46	
	一度にたくさんのお電装品を取付けられて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。		
	その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ/電源、通信配線の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。		
ガイドトーンが出ない。	ガイドトーンの設定が切られていませんか。	ガイドトーンの設定をし直してください。	20	
リモコン操作ができない。	リモコンの電池が消耗していませんか。	電池を交換してください。	63	
	リモコンの電池の向きが+-逆になっていませんか。	正しい向きにセットし直してください。	63	
	リモコン受光部が汚れていませんか。リモコン受光部の前に障害物がありませんか。	障害物が赤外線を遮らないようにしてください。	59	
	その他、リモコンの故障が考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。		

困ったときは

	症 状	原 因	処 置	本書参照 ページ
CD	ディスクが入らない。ディスクを入れてもすぐ出る。または、ディスクが排出できない。ディスクチェンジができない。	ディスクにラベルやシールなどを貼りつけていませんか。	ディスクにはラベルやシールなどを貼り付けないでください。	8
		ディスクにバリや変形、破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。バリのあるディスクは、バリを取り去ってご使用ください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	9
	音が飛ぶ。音が途切れる。音質が悪い	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	7
		取付角度は適正ですか。取付にガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されませんか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。	
その他、ディスクに記録されている音楽ソースの音質やトランスなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。			
MD	ディスクが入らない。ディスクを入れてもすぐ出てくる。	本機に収納できるディスクは最大4枚です。既にこの状態になっていませんか。	ディスクを排出してください。	41
		ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	17
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていませんか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。	13
	4枚目のディスクが入らない	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	41
		無録音のディスクを使用していませんか。	録音済みのディスクをご使用ください。	
		STORE (ストア) 操作を忘れていませんか	4枚目のディスクを聞く場合は、ディスク挿入前に必ずSTORE (ストア) 操作を行ってください。	
	ディスクが排出できない。ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	

	症 状	原 因	処 置	本書参照 ページ
MD	ディスクが排出できない。ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていませんか。	ディスクカートリッジのラベルを整えてください。排出できない場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	13
		音が飛ぶ。音が途切れる。音質が悪い。	他のディスクに入れ替えてみて下さい。キズのあるディスクは、ご使用にならないでください。	
	取付角度は適正ですか。取付にガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	7	
	悪路を走行されていませんか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。		
	その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース(CD、テープなど)の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。		
ラジオ	放送を受信できない。雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナを伸ばしてください。 アンテナコードを接続してください。	45、46
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	
		旅行などで、放送サービスエリアを外れていませんか。	旅行先の地域の放送周波数にセットし直してください。(放送サービスの無い地域も有りますのでご注意ください)	47、48
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合はご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

◆仕様について

チューナ部

受信周波数	AM522~1,629kHz FM76~90MHz
実用感度	AM22 μ V(S/N20dB) FM12dBf(S/N30dB)
周波数特性	30~15,000Hz(FM)
ステレオセパレーション	38dB(1kHz)

CD部

周波数特性	20~20,000kHz
ダイナミックレンジ	95dB(1kHz)
S/N比	96dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪率	0.01%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッター	測定限界以下

MD部

周波数特性	20~20,000Hz
ダイナミックレンジ	90dB(1kHz)
S/N比	92dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03%(0dB, 1kHz)
ワウ・フラッター	測定限界以下

共通部

ラウドネス	・100Hz+9dB ・10kHz+5dB
最大出力	40W×4
適合負荷インピーダンス	4 Ω (各チャンネル)
プリアウトレベル	700mVrms(CD 1kHz-10dB VOL MAX)
電源電圧	DC13.2V(11-16V) ⊖アース専用
消費電力	・1W×4出力時 約3A ・最大約12A

調整周波数	63Hz、125Hz、250Hz、500Hz、1 kHz、2 kHz、4 kHz、 8 kHz、12kHz
トーン変化量	±10dB
外形寸法	178mm (幅) × 100mm (高さ) × 165mm (奥行)
質量 (重量)	約3.4kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

■CD オートチェンジャー等との接続ができます。くわしくは、販売店にお問い合わせください。

■本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

◆ アフターサービスについて

1. この商品は保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受け取りの際、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前にこの取扱説明書を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
 - ◆保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますので、お求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先

〈商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ〉
 ※ 修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前10：00～12：00 午後1：00～5：00
 （土・日・祝日などを除く）

〈商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ〉

富士通テン北海道㈱	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011) 821-2221	北海道全域
富士通テン東日本㈱	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03) 5330-6244	東京、神奈川、千葉、甲信越地区
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285) 22-6410	栃木、埼玉、茨城、群馬
仙台支店	〒983-0941 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022) 256-2291	東北地区
富士通テン中部㈱	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052) 581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920-0918 金沢市尾山町1番8号(朝日生命金沢ビル)	(076) 222-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422-8067 静岡市南町18番1号(サウスポット静岡)	(054) 203-0090	静岡
富士通テン関西㈱	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6丁目2番21号	(078) 811-2451	兵庫
大阪支店	〒571-0064 大阪府門馬市御堂町3番23号	(06) 6902-8414	大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山
広島支店	〒734-0044 広島市南区西蔵町2番25号	(082) 255-2422	中国地区
高松営業所	〒780-0034 高松市内町1番13号(日新内町ビル)	(087) 822-1411	四国地区
富士通テン西日本㈱	〒812-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092) 511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号(スカイビル)	(099) 250-4737	鹿児島、宮崎

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081 (代表)

090002-2393A700
0101TP (N.I)